

京丹波町公共事業再評価審査委員会

第3回会議（会議概要）

日 時 平成23年2月28日（月）
午前10時～正午

場 所 京丹波町役場2階
議 場

出席委員 9名

（*設置要綱第4条第2項の規定により、本委員会が成立）

1 開 会

- ・副町長挨拶
- ・委員長挨拶

2 議 事

（1）対象事業（町道235号線道路改良事業）の再評価について
（第2回目の意見・質問に対する説明）

①計画全体の事業費について

■事業費	658,281,000円
・工事費	513,770,000円
・測量試験費	34,734,000円
・用地補償費	99,139,000円
・事務費	10,636,000円

②費用対効果の維持管理費について

資料において使用している維持管理費については、国土交通省「費用便益分析マニュアル」に基づき平成25年度から50年間にかかる維持管理費を42百万円としていますが、当該路線において発生すると思われる維持管理については、20年に一度の舗装修繕及び側溝清掃が想定され、これにかかる費用を積算すると約53百万円であり、この金額を現在価値にしたもので算出をしても費用対効果は3.9と変わらない結果となりましたので、報告書にあるとおり費用便益分析マニュアルに基づいた算出方法とする。

（主な意見・質問等）

・委員

平成21年度末及び平成22年度末までの事業費がいくらかかったか教えてください。

・担当課

平成21年度末においては約330百万円であり、平成22年度末の見込みは約377百万円です。

・委員

南丹市側の進捗状況を教えてください。

- ・担当課

現在南丹市においては、ルート決定がなされ、その計画を以って地元説明をされたと聞いています。

(2) 対象事業（町道 2 3 5 号線道路改良事業）に係る再評価審査の取りまとめ

- ・事務局から説明

(主な意見・質問等)

- ・委員

平成 1 3 年度から現在までの進捗率が 5 7 % に対し後 2 ヶ年で残りの 4 3 % が行えるのですか。ダム工事より道路改良が遅れることになれば、再評価チェックリストの項目別評価の中の畑川ダム支援にならないことになる。

- ・担当課

すでに遮水擁壁部も発注され順次来年度に南丹市側の築造工事も発注の予定としていますので、2 4 年度末には事業完了できる見込みであります。

また、畑川ダム支援については、国道 2 7 号バイパスとの交差点部を進入路と併せて整備したことによりすでに支援していると理解をお願いします。

- ・委員

意見書の中で“発現”という表現は適切な表現ですか。また、工期内完成に努められるような記述が必要ではありませんか。

- ・担当課

・・・十分な啓発を行い、工期内完成に向け事業効果の早期実現に・・・と修正いたします。

3 その他

なし

4 閉 会

- ・隅山副委員長挨拶